

立命館アジア太平洋大学 (APU) の学生との交流

目的

県内の児童生徒がAPU学生と直接またはオンラインで交流する機会を設けることにより、各学校の言語活動の充実を図るとともに、児童生徒の英語に対する学習意欲を喚起する。

実績

実施期間	5/30-1/23	申込件数	38件	校種別件数	小学校26件、中学校12件
実施方式	派遣35、オンライン3	児童生徒数	2,568名	参加学生数	123名
学生の国籍	インドネシア、ミャンマー、ベトナム、タイ、スリランカ、バングラデシュ、インド 等				



佐伯市立鶴谷中学校 (12/9)

学年 2年 / 学生 3名
(82名)

- ・学生から生徒に、出身国で若い人たちに人気のあるものや有名な食べ物等について紹介。
- ・生徒から学生に、学校(学級)で人気のある食べ物、教科、歌手等について、学習した比較級、最上級を用いて紹介。



日田市立咸宜小学校 (11/8)

学年 5・6年 / 学生 4名
(164名)

- ・学生から児童に、出身国の国旗や位置、伝統衣装、食べ物、観光地等について紹介。
- ・児童から学生に、学生が興味を持った日田の食べ物やお土産品等について、日田ガイドマップで道案内。



大分県立大分豊府中学校 (12/12)

学年 1年 / 学生 3名
(120名)

- ・生徒から学生に、総合等で調べてきた大分の魅力について、グループごとにトピック(産業、観光地等)別に紹介。
- ・学生から生徒に、出身国の文化や自然、食べ物、観光地等について紹介したのち、生徒とフリートーク。



大分市立小佐井小学校 (12/17)

学年 6年 / 学生 6名
(78名)

- ・学生と児童が、互いの国のいいところを紹介。
- ・児童から学生に、レッドデータブックおおいた等に掲載されている、県内で絶滅が危惧されている動物を紹介。
- ・学生から児童に、出身国の絶滅危惧動物を紹介。

